

# 家具工場やプレカット工場から出る木材片も積極的に利用 シンプルでユーモアのある 木製雑貨ブランド「SAUCE」

drawers

上質なソースのような旨味を添えることで、何気ない日常生活がほんの少し心地よく変化してゆく。そんな想いから名付けられた「SAUCE」(<http://www.sauce-shop.jp/>)は、drawers(横浜市港北区綱島東、鈴木大輔社長、045・717・5853)が昨年6月に立ち上げた木製家具、雑貨ブランドである。

「人々を嬉しくするモノづくり」をコンセプトに掲げる同社は、横浜市に特注家具工房「相談家具屋」(<http://www.soudankaguya.com/>)、逗子市に体験型木工施設「WOODWORK CENTER」(<http://www.soudankaguya.com/wwc/>)を運営し、木工技術と柔軟な発想でさまざまなモノづくりを展開している。

鈴木社長が特注家具職人として独立した際の「ご相談に乗りながら、お客様自身も気付かなかつた本当の要望を発見し、提案し、具現化してゆく家具屋になる」と



教会に納品した木製のシャンデリア



ブックスタンド「Book Block」



一見スピーカーとは思えない iPhone stick speaker

天然木の魅力に直接触れて親しめるオリジナルブランド「SAUCE」

いう意志を今も貫き、教会に納品された木製のシャンデリアなど、家具の範疇を超えた依頼にも積極的に応えている。一方、体験型木工施設は、現在約130名の生徒が在籍する本格木工教室が盛況である。

「SAUCE」は、今年6月の展示会に向けて急ピッチで商品開発を進めている。ギフト商品を中心とした、シンプルでユーモアあふれるデザイン。また、森林資源を扱う企業の社会貢献として、木造住宅材の余りを利用したブックスタンド「Book Block」など売上金の一部を森林教育事業を行うNPO法人に寄付するといった活動を行っている。4月からSAUCEウェブショップにて、限定品含めラインナップを増やす予定だ。

社長は「ただ作るだけではなく、これからは売れる作り手になる必要がある、本当に良いモノを誠実に作り出し、必要としてくれるお客様に確実に買っていただき、皆が笑顔になれるモノづくりを続けていきたい」と語ってくれた。